

あ と が き

東南アジア研究センターが京都大学に誕生した。何か一種の所報を編集して出版するようということで、出版計画がねられた。その結果大体センターとしては調査報告と紀要と雑誌的なものとの三種が計画された。この「東南アジア研究」は雑誌ないし所報にあたるものである。内容は昭和34年秋以降続けられている東南アジア研究例会における発表の中から数氏に原稿を依頼したのである。

幸いにして御協力を得ることが出来たことに対しては衷心感謝にたえない。唯所長から依頼を受けてから編集するまでに期間が少なく、執筆者に御迷惑をかけたことをお詫びせねばならない。またその為若干原稿の到着がおくれた方々があるので、なるべく早く第2号を出したいと思う。特に原稿を頂きながら本号にのせ得なかった岩田慶治、藤吉慈海両氏に対して深くお詫び申上げる。

京都大学の東南アジア研究はインター・ファカルティであると同時にインター・ユニヴァーシティであることを目図しているので、広く東南アジア研究者の御後援や御寄稿をお願いしたい。しかし専門家のインター・ファカルティなさまざまな御研究を専門家でない人々に面白く読ませることはかなり難事で、本号もそれに成功しているか否か覚束ないが、この雑誌はできるだけ他の領域の人にも読んで頂けるように御執筆を願っている。特に図書紹介は急に編集することになった為に数氏にしか御紹介願えなかった。今後心に留めておいて頂いて御紹介の労を取って頂きたい。

なお末筆であるが、本号は創刊号であるから、東南アジア研究の推進に特に配慮して頂いた平沢総長に御寄稿を願った。記して御礼を申上げねばならない。次号原稿は10月末日〆切の予定。(編集委員)

執 筆 者 紹 介

平 沢 興	京大総長 医博
奥 田 東	京大・農・教授・農学部長 農博
本 岡 武	京大・農・助教授 農博
吉 田 光 邦	京大・人文・助教授
鎌 倉 昇	京大・経・助教授 経博
矢 野 暢	京大・法・大学院
上 田 弘 一 郎	京大名誉教授 農博
佐 藤 孝	兵庫県立農大教授
臼 井 二 尚	京大・文・教授 文博
棚 瀬 襄 爾	京大・文・助教授 文博
相 良 惟 一	京大・教・教授 法博
口 羽 益 生	龍大講師 M. A. (コーネル大)
高 木 英 明	京大・教育学部助手